日本家庭科教育学会第55回大会プログラム

期日:2012年6月30日(土)~7月1日(日)

会場:東京学芸大学教育学部

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

http://www.u-gakugei.ac.jp/

大会事務局:高木 直(大会実行委員長;山形大学)

〒112-0012 東京都文京区大塚 4-39-11 仲町 YT ビル 3 階

日本家庭科教育学会事務局

Tel&Fax: 03-3942-7885

E-mail: kateika@amethyst.broba.cc

後援:東京学芸大学

日程

 \sim 19:30

	6)	30日	(土)		7月1日(日)					
9:00~	受付			9:00~	受 付	受 付				
	(データイン	⁄ストール6月	30 日分:各発	表会場)		(データインストール7月1日分:各発表会場)				
口頭研究発表					口頭研	究発表				
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	
$9:30$ $\sim 12:10$	S103 講義室	S106 講義室	S203 講義室	S202 講義室	$9:30$ $\sim 11:50$	S103 講義室	S106 講義室	S203 講義室	S202 講義室	
	A1-1 ~A1-8	A2-1 ~A2-7	A3-1 ∼A3-8	A4-1 ~A4-8		B1-1 ~B1-7	B2-1 ∼B2-7	B3-1 ∼B3-7	B4-1 ∼B4-7	
12:10 ~13:00	>				11:50 ~13:00	昼 食				
13:00 ~13:30					13:00 ~13:30		ポスター研究発表 偶数番号 (S棟105講義室)			
13:40 ~14:40	3:40 総会				13:40 ~15:40	パネル・ディスカッション 「中学校技術・家庭科を取り巻く現状				
#演・シンポジウム 14:50 「東日本大震災と家庭科教育-生活をみつめ、 ~17:15 考え、つくる家庭科学習-」 (W 棟 110 講義室)						教育の果だ 110 講義室	こす役割を ⁵ 室)	考える」		
17:30	懇親会									

*6月29日(金) 10:00~12:00 大会実行委員会

(会場:東京学芸大学生協)

13:00~16:30 理事会

17:00~19:00 地区会代表者会議

会場はいずれも「総合教育科学研究棟(通称家庭科棟)」の「家105」

目 次

研	究系	表																		
	口頭	発	表	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
	ポス	くタ		発	表	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	8
実	:行季 講演						ウ	ム	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		10
理	事会 パネ				イ	ス	力	ツ	シ	ヨ	ン	•	•	•	•	•	•	•	•	11
懇	親会	<i>€</i> Ø	<u>_</u>	案	内	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	12
お	知ら	っせ																		
	大会	参	:加	費	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13
	昼食	EKZ	<u>つ</u>	1	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13
	保育	室	12	つ	V	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13
	宿泊	等	に	つ	٧١	て	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	13
研	究系	表	を	さ	れ	る	方	~	の	連	絡	事	項							
	口頭	爾	究	発	表	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	14
	ポス	、 タ	_	研	究	発	表	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	15
東	京学	生芸	大	学	キ	ヤ	ン	パ	ス	マ	ツ	プ	•	•	•	•	•	•	•	16
会	:場酯	己置	図	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	17
	. \ - -	.).	,	_																

研究発表

【口頭発表】(発表番号のAは第1日目、Bは第2日目)

【6月30日】第1会場(1階 S103)

【午前 9:30~10:50】座長: 増渕 哲子

A1-1	農場実習による学生の意識変容 -家庭科教員養成における農場実習 の意義-	女子栄養大学栄養学部 女子栄養大学栄養学部	○井元 仙波	
A1-2	食品認識の学習を位置付けること による学習効果の検討 - 「味わい」を感じる五感に着目 して-	千葉大学教育学部附属小学校 千葉大学教育学部	○佐藤 石井	
A1-3	男子大学生及び社会人の食意識・ 食行動への家庭科履修の効果	聖徳大学大学院人間栄養学研究科 (非)	河野	公子
A1-4	東京都A市小学校における食育活動の実態とその課題 ーインタビューデータの KJ 法による 分類からー	東京学芸大学教育学研究科(院生)東京学芸大学教育学部	○野田 大竹	聡子 美登利
[-	午前 10:50~12:10】座長:亀井	佑子		
A1-5	食育劇による児童の意識・行動変 容	愛知学泉大学 愛知学泉大学		三千江ひふみ
A1-6	高校生の食行動および意識からみ た食育の視点	東京都立忍岡高等学校	荒井	きよみ
A1-7	教材「食育すごろくゲーム」活用 の一考察	松本大学地域健康支援ステーショ ン	○石澤	美代子
	- 教員養成課程の学部生による評価と課題-	兵庫教育大学大学院連合学校教育 研究科(院生)	名嘉	一幾
		上越教育大学大学院学校教育研究科	得丸	定子
A1-8	ライフステージに応じた栄養教育 プログラム「Simply Good Eating」 に関する研究	高知大学教育学部	柴	英里

【6月30日】第2会場(1階 S106)

【午前 9:30~10:30】座長: 野中 美津枝

A2-1	布の構造と空気から考える 家庭科衣生活内容の構築	る小学校	和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 兵庫教育大学大学院学校教育研究 科	○ 今村 赤倉 與深,山期 山期田	律子 純子 弘子 大香子子 ひとみ
A2-2	小学校家庭科衣生活内容 る」の検討	「布を知	滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 兵庫教育大学大学院学校教育研究 科 和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部	○與倉 深沢 山湖田 今村 赤松	弘子 本子 古佳 ひと 本子 純子
A2-3	小学校家庭科衣生活内容 の検討	「洗う」	兵庫教育大学大学院学校教育研究 科 和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部 滋賀大学教育学部 京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部	○潮田 今村 赤料 料深 山田	ひとみ 律子 純子 弘子 香佳子

【午前 10:30~11:50】座長:浅井 玲子

A2-4	ゆかたの着装を題材とした家庭科 の教育プログラムの提案	埼玉大学教育学部 埼玉大学教育学部 横浜国立大学人間教育科学部 山梨県立大学人間福祉学部 大妻女子大学(元)	○小林 川端 薩本 斉藤 呑山	由実 博子 弥生 秀子 委佐子
A2-5	きもの文化の伝承をめざした浴衣 の着装を含む教育プログラム開発 のための中学校技術・家庭科での 授業実践 一教育学部の大学生アシスタント ティーチャー (AT) を活用した試 みからー	横浜国立大学人間教育科学部 埼玉大学教育学部 横浜国立大学人間教育科学部 茨城キリスト教大学 山梨県立大学人間福祉学部 大妻女子大学(元)	〇薩本 川堀 扇 幕 香 山	弥生 博子 かお子 秀子 秀佐子
A2-6	食育キャラクターを活用したオー ルインワン縫製教材	愛知教育大学院教育学研究科 (院生) 愛知教育大学院教育学研究科 (院生) 愛知教育大学院教育学研究科	○櫨 藪 加藤	千尋 聖美 祥子

A2-7	中学校家庭科製作学習における思 考を深める場面設定の効果に関す る研究	広島県立教育センター 東広島市立松賀中学校 三次市立三次中学校 広島大学大学院教育学研究科	○藤田 春恵 石本 有士 桒原 知恵 鈴木 明子
	月 30 日】第 3 会場(2 階 S 203 前 9:30~10:50】座長: 福井 貞		
A3-1	男子進学校の家庭科定着をめざす プロセスに関する質的研究 ーグラウンデッド・セオリー・ア プローチによる分析-	東京学芸大学大学院教育学研究科 (院生) 東京学芸大学教育学部	〇大矢 英世 大竹 美登利
A3-2	大学生の家庭科学習経験と知識・ 技能の定着	鳴門教育大学大学院学校教育研究 科	速水 多佳子
A3-3	大学生における家庭科の学習内容 の定着について	鹿児島大学教育学部	黒光 貴峰
A3-4	家庭科における「つまずき」の構造分析 一大学生の「つまずき」経験調査 をもとに一	広島大学大学院教育学研究科 (院生) 広島大学大学院教育学研究科	○小林 歩 伊藤 圭子
【午	前 10:50~12:10】座長:宮瀬 美	津子	
A3-5	体験の振り返りとしてのナラティ ブの有効性 ー中学校の調理実習からー	さいたま市立本太中学校 東京学芸大学教育学部 東京学芸大学附属高等学校 香川大学教育学部 秋田大学教育文化学部	○金子 京子 倉持 清美 阿部 睦子 妹尾 理子 望月 一枝
A3-6	ホームプロジェクトにおける自己 評価と相互評価の効果に関する研 究	広島県立総合技術高等学校 広島県立総合技術高等学校 広島県立佐伯高等学校 広島大学大学院教育学研究科	〇小桝 由美 長谷川真由美 長谷中 久美 鈴木 明子
A3-7	生活資源のマネジメントを軸に展 開した生活設計教育の効果	千葉県立流山南高等学校 千葉大学教育学部	○仲田 郁子 久保 桂子
A3-8	家庭科推奨CM制作による学びの終結からガイダンスをつなぐ試み 一第6学年児童から新5学年児童	横浜国立大学教育人間科学部川崎市立鷺沼小学校	○堀内 かおる 種村 由紀

へのメッセージー

【6月30日】第4会場(2階 S202) 【午前9:30~10:50】座長: 入江 和夫

A4-1	占領下日本における高等学校家庭 科教育の展開 - 既製型紙の導入による被服教育 の改革-	広島大学大学院教育学研究科	柴	静子
A4-2	高等学校家庭科の教科書索引項目 の変化と特徴	岩手大学教育学部	渡瀬	典子
A4-3	高等学校の共通教科「家庭」の内容に「共生社会」が位置づいた背景と授業実践の課題	横浜市立ろう特別支援学校 横浜国立大学教育人間科学部(元)	〇山田 鈴木	美砂子 敏子
A4-4	高等学校家庭科の位置づけの再検 討	栃木県立宇都宮中央女子高等学校 (非)	○大原	弘子
	- 大学入試センター試験問題との かかわりから-	宇都宮大学教育学部	赤塚	朋子
【午前	前 10:50~12:10】座長:渡瀬 典	7		
A4-5	日本人学校中学部における家庭科 指導の実態 - 教員調査による比較-	東京学芸大学教育学部	池﨑	喜美惠
A4-6	日本人学校小学部における家庭科 教育の現状と課題	板橋区立常盤台小学校 東京学芸大学教育学部	○村上 池﨑	由季 喜美惠
A4-7	家庭科教育に於ける地震災害対応 授業の開発と強化	滋賀大学教育学部	田中	宏子

【7月 1日】第1会場(1階 S103) 【午前9:30~10:50】座長:多々納 道子

B1-1	食品に含まれる鉄分の可視化に関 する教材開発と授業実践	鳴門教育大学大学院学校教育研究 科	○前田	英雄
		鳴門教育大学大学院学校教育研究 科	速水	多佳子
B1-2	神経性疾患の予防を目指した調理 実験の計画 -家庭科教育におけるニューロリ ハビリテーションー	東京都立大泉高等学校 (非)	長山	知由理
B1-3	通常及び特別な支援を必要とする 児童・生徒の食生活における意思 決定	植草学園大学 日本女子大学 千葉市立轟町小学校	〇佐藤 内野 庄司	文子 紀子 佳子
B1-4	調理を体験してわかること -小学校 2 年生・調理実習の学習 記録から-	埼玉大学教育学部	河村	美穂
【午	前 10:50~11:50】座長: 福田 恵	子		
B1-5	中学生の家庭における調理に関する実態 - 1970・80 年代と比較して-	江戸川区立南葛西第二中学校 千葉大学教育学部	〇浅井 石井	直美 克枝
B1-6	食と環境についての意識調査 一家庭科授業による影響ー	静岡大学教育学部附属浜松中学校	○加賀 諸岡	恵子 浩子
B1-7	小学校家庭科における環境保全意 識を備えた消費者の育成	島根大学大学院教育学研究科(院 生)	○荊尾	梨絵
	ーフード・マイレージを利用して	島根大学教育学部	多々執	道子
_	月 1日】第2会場(1階 S106) 前 9:30~10:30】座長:綿引 伴子	<u>.</u>		
B2-1	ESD の視点を育む小学校家庭科に おける授業および分析	北海道教育大学 東京学芸大学	○小野 大竹	恭子 美登利

千葉大学教育学部

伊藤 葉子

○中山 節子

B2-2 家庭科における ESD 指導の向上を 千葉大学教育学部

B2-3 家庭科の実験・実習と水に関する 愛知教育大学教育学部

目指す PIP メソッドプログラム開

発の実証的研究

教育内容

【午前 10:30~11:30】座長:小川 裕子

B2-4	家庭科における批判的思考力を育む授業の検討 -高齢社会と福祉を題材にして-	東京学芸大学大学院連合学校教育 学研究科(院生) 横浜国立大学教育人間科学部	○土屋 堀内	善和かおる
B2-5	小学生の家事参加を促進する授業 の開発	千葉市立新宿小学校 千葉大学教育学部	○鳥羽 久保	波峰 桂子
B2-6	家庭科における問題解決的な学習 の効果と課題 一教員に対するインタヴュー調査 より-	福井大学教育地域科学部 大阪教育大学教育学部 金沢大学人間社会学域学校教育学 類	荒井 ○鈴木 綿引	紀子 真由子 伴子

_	月 1日】第3会場(2階 S203) 前 9:30~10:50】座長:石井 克村	ξ		
B3-1	家庭科教員志望の学生の生活的自 立行動に関する意識と実態	東京工業大学大学院(院生)	小清力	大 貴子
B3-2	教員養成課程における実践的指導 力の検討 - 模擬授業を通して習得される資 質能力の分析-	東京家政大学短期大学部	青木	幸子
B3-3	小学校教員養成における家庭科授 業デザインの開発	茨城大学教育学部 東京学芸大学附属小金井中学校	○山本 佐藤	紀久子 麻子
B3-4	社会参画意識を育む高校家庭科の 授業をつくるための教師支援方法 の検討	千葉大学大学院(院生) 千葉大学教育学部	○石島 伊藤	恵美子 葉子
【午	前 10:50~11:50】座長:永田 智	子		
B3-5	家庭科教師の自発的研修組織にお けるニーズと効果	横浜国立大学大学院教育学研究科 (院生)	○葛川	幸恵
	ー学び合いを支援する場作りの試 みー	横浜国立大学教育人間科学部	堀内	かおる
B3-6	都内私立高校の男子校、女子校の 教育課程における家庭科	正則高校	鈴木	博美
B3-7	家庭科教育における自己評価	愛知教育大学	伊深	祥子

【7月 1日】第4会場(2階 S202) 【午前9:30~10:50】座長:松岡 英子

B4-1	家庭科は離乳食をどのように教え てきたか -過去をふりかえり今後を考える	京都女子大学	表	真美
B4-2	幼児の手指の巧緻性における年齢 差と性差	東京学芸大学大学院教育学研究科 (院生) 元東京学芸大学附属幼稚園 東京学芸大学	○山本 赤石 鳴海	元子
B4-3	「幼児と触れ合う活動」に幼児来 校型を取り入れた中学校家庭科の 授業づくり 一行政や地域と連携して一	神奈川県横浜市立東永谷中学校横浜国立大学教育人間科学部(元)	○萬谷 鈴木	
B4-4	触れ合い体験学習における中学生 と幼児の「かかわり」について 一幼児教育の視点から考えるー	山梨大学大学院教育学研究科	田甫	綾野
【午前	前 10:50~11:50】座長:表 真	美		
B4-5	ナラティブから幼児の発達の特徴 を読み取る学習過程 -中学校家庭科の授業研究-	秋田大学教育文化学部	望月	一枝
B4-6	日韓の大学生の性別役割分業意識 の形成と家庭科教育	東京学芸大学大学院教育学研究科 (院生) 島根大学教育学部	○鄭 多々?	暁静 納 道子
B4-7	中学校家庭科で道徳的価値「ジェンダー平等」をはぐくむ視聴覚教 材の開発	東京学芸大学附属特別支援学校 東京学芸大学附属小金井中学校 東京学芸大学附属高校 東京学芸大学附属世田谷中学校 東京学芸大学附属国際中等教育学 校 東京学芸大学附属竹早中学校 東京学芸大学附属小金井小学校 北海道教育大学釧路校 東京学芸大学	他性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性	睦子 智美 みどり

【ポスター発表】

掲示は6月30日(土)9:30 ~ 7月1日(目)13:30

プレゼンテーションは、奇数番号【6月30日(土)】13:00 ~ 13:30

偶数番号【7月1日(日)】13:00 ~ 13:30

【ポスター会場】(1階 S105)

P01	技術・家庭科における小物づくり
	と機械づくりの関連と連携
	-家庭分野「布を用いた物の製作」と
	技術分野「製作品の設計・製作」に注
	目して一

信州大学大学院教育学研究科

福田 典子

染色教材化のための天然染料の削 P02 減が後媒染染色布の色に与える影

北海道北見緑陵高等学校 北海道教育大学 北海道教育大学

○駒津 順子 小松 恵美子 森田 みゆき

P03 学校現場で実践可能な吸水速度測 定法

> -吸水性の低い布に対応する滴下 法一

弘前大学教育学部 弘前大学教育学部 ○安川 あけみ 日景 弥生

P04 家庭科における複数領域の内容を 含む教材としてのノクシカタの検

計

大分大学教育福祉科学部 大分大学教育福祉科学部 ○都甲 由紀子 財津 庸子

新学習指導要領に準拠した小・中 P05 学校家庭科の被服学・衣生活に関

わる語句分析

京都教育大学教育学部 大阪教育大学教育学部 兵庫教育大学大学院学校教育研究科

和歌山大学教育学部 和歌山大学教育学部 滋賀大学教育学部

○深沢 太香子

山田 由佳子 潮田 ひとみ 赤松 純子 今村 律子 與倉 弘子

P06 小・中・大学生を対象とした被服 製作用語と調理用語の知識や技能 の実態

-青森と東京の実態比較-

弘前大学教育学部

日景 弥生

P07 小学校家庭科における弁当作りに

関する教材開発及び授業実践

高知大学大学院総合人間自然科学 〇小島 千明 研究科 (院生)

高知大学教育学部 高知大学教育学部

柴 英里 菊地 るみ子

「3・1・2弁当箱法」の教材化 P08 に関する一考察

-詰め方の個人差に着目して-

山形大学地域教育文化学部

髙木 直

P09	大学生の食生活の実態とその関連 要因	北海道教育大学旭川校 千葉県鎌ケ谷市立鎌ヶ谷小学校	○岡田 みゆき土岐 圭佑
P10	発見・習得・活用の学習展開を取り入れた高等学校住生活分野の教材開発 -高等学校家庭科教員による評価	兵庫県立湊川高等学校 兵庫教育大学大学院	○浅野 三奈 永田 智子
P11	小学校家庭科へ実験教材を導入した成果と課題 - 「初等家庭科教育論」における 授業内容の改善-	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 鳴門教育大学大学院学校教育研究科	○福井 典代 速水 多佳子
P12	ユニバーサルデザインについて考 える高等学校家庭科の授業実践	東京学芸大学(非)	冨田 道子
P13	環境と消費に関する若者の実態と 家庭科環境教材の方向性 -消費者市民教育の実践に向けた 一考察-	香川大学教育学部	妹尾 理子
P14	教員養成課程における金融教育実 践者育成のための授業検討 - 北海道教育大学講義「金融教育」 の場合-	北海道教育大学釧路校北海道教育大学旭川校	○鎌田 浩子 川邊 淳子
P15	体系立てた消費者教育を目指す教 材開発について -衣生活教材-	樟蔭東短期大学 大阪教育大学 岡山県立大学 武庫川女子大学 大阪教育大学大学院(院生)	○吉井 美奈子 大本 久美子 岸本 (重信) 妙子 田中 洋子 藤川 順子
P16	家庭科教育とキャリア教育の関連 性の検討 ーライフキャリアの視点からー	山梨大学教育人間科学部	志村 結美
P17	生活技術としてのストレス低減へ の取り組み - 「生きる力」育成を視野に置い た基礎的試み-	上越教育大学大学院学校教育研究科 松本大学地域健康支援ステーション 兵庫教育大学大学院連合学校教育研 究科 (院生)	○得丸 定子 石澤 美代子 名嘉 一幾

実行委員会企画

【講演・シンポジウム】

6月30日(土) 14:50 ~ 17:15 東京学芸大学 W110講義室

テーマ:東日本大震災と家庭科教育―生活をみつめ、考え、つくる家庭科学習-

趣旨: 2011年3月11日午後2時46分、東日本は激震に見舞われ、子どもを含む多くの生命が失われた。震災から1年以上を経過したが、今後の生活の目途がたっていない方もいる。このような災害では「生きる」「生活する」ことは最重要課題である。本講演とシンポジウムでは、学校における防災教育等の実態を知るとともに、家庭科教育に求められていることは何かを考える場としたい。

|基調講演| 災害に強い人を育てる・・・教育における協働

室崎益輝(むろさき よしてる)氏(関西学院大学災害復興制度研究所所長)

講師プロフィール

1971年 京都大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学、1979年 工学博士(京都大学)。1971年 京都大学工学部助手、1977年 神戸大学工学部講師、助教授、教授を経て、名誉教授。2008年 関西学院大学総合政策学部教授、現職。神戸市防災功労表彰、兵庫県防災功労賞、防災功労者(防災大臣表彰)、日本火災学会賞、建築学会賞、都市住宅学会賞受賞。日本災害復興学会会長、内閣府中央防災会議専門委員会委員、内閣府災害教訓継承専門委員会委員など公的委員を数多く歴任。

シンポジウム

シンポジスト 萬谷恵三子 氏(横浜市立東永谷中学校教諭) 森元 恵 氏(兵庫県立舞子高等学校教諭)

コーディネーター 望月 一枝 氏(秋田大学教授)

理事会企画

【パネル・ディスカッション】 7月1日 13:40~15:40 東京学芸大学 W110 講義室

テーマ:中学校技術・家庭科を取り巻く現状と家庭科教育の果たす役割を考える

趣旨:本学会では、2010年に中学校技術・家庭科(家庭分野)の担当教員が直面している状況の把握を目的に全国調査を行った。そこからは、実態を把握することの難しさや担当教員を取り巻く状況が明らかになりつつある。本パネル・ディスカッションでは、現在までに把握している調査結果の報告を基に、中学校家庭科教員を取り巻く現状を整理し課題を明らかにする。また、中学校現場で、学校管理および家庭科教育の指導にあたっている副校長や家庭科教諭が直面している具体的な課題や困難を基に、中学校技術・家庭科教諭が直面している具体的な課題や困難を基に、中学校技術・家庭科教諭が直面している具体的な課題や困難を基に、中学校技術・家庭科教諭が見える課題の要因や背景を探る。そして、これからの中学校教育に求められる学びを展望する中で技術・家庭科教育が果たすべき役割について議論し共有する場としたい。

パネリスト 中西 雪夫 氏(佐賀大学教授) 藤田 晃之 氏

> (国立教育政策研究所生徒指導センター総括研究官) 湯通堂 由加里 氏(東京都足立区立谷中中学校副校長) 宇田川 裕美 氏(東京都世田谷区立東深沢中学校主幹教諭)

コーディネーター:流田 直 氏(十文字学園女子大学教授)

懇親会のご案内

日時 : 6月30日(土) 17:30~19:30

会場 : 東京学芸大学生協 大学構内

第1むさしのホール

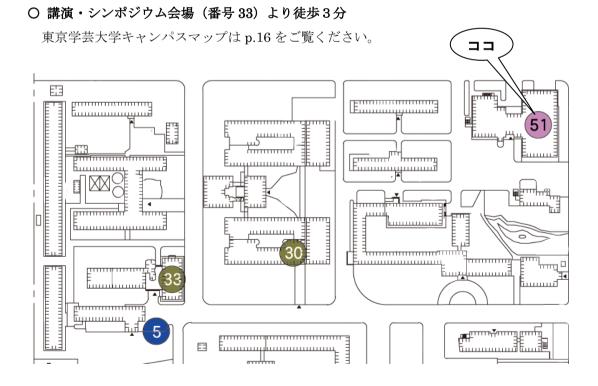
Tel 042-322-0783 (第1食堂)

(http://www.gakugei-coop.or.jp/sr tenpo guide.html)

会費 : 3,000 円

なかなかお目にかかることの少ない会員と交流を深める機会です。 皆様のご参加をお待ちしております。

懇親会会場(番号51)への移動



お知らせ

● 大会参加費 会 員 5,000円(当日は6,000円)

学生会員 3,000円(当日は3,500円)

非会員 6,000 円 学生非会員 3,500 円

非会員の1日参加費 2,500円(要旨集別売り 1,000円)

*「講演・シンポジウム」のみの参加は無料です。

●昼食について

学会による弁当の手配はありません。各自で昼食をご準備下さい。

●保育室について

大会期間中、ご希望の方は保育室の利用が可能です。専門のスタッフがおります。

<u>開設期間:6月30日(土) 9時~17時30分 7月1日(日) 9時~16時</u>

お預かりできるお子様の年齢:生後3か月~小学校6年生

利用料金:1時間200円

別途、一日あたり 100 円程度の保険に加入していただきます。

ご希望の方は<u>6月4日(月)</u>までに下記の事項を記したメールを、<u>件名欄に「保育室</u>利用申込」と明記の上、学会事務局(kateika@amethyst.broba.cc)までお送りください。

記載事項は、以下のとおりです。

- 1. 利用者(保護者) 氏名、住所、所属(ある場合)、学会中に連絡の取れる携帯電話番号等
- 2. お子様の氏名、性別、年齢
- 3. 保育室利用予定日時
- 4. おやつや粉ミルク、湯等の持ち込みの有無(長時間になる場合は、是非、お持ちください)
- 5. 特別な配慮が必要な場合は、そちらもお書きください。

●宿泊等について

お早めにスケジュールにあわせて、各々で確保していただきますようお願い致します。

研究発表をされる方への連絡事項

【口頭研究発表】

- 1. 口頭研究発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。
- 2. パワーポイントをご使用になられる方へ
 - ①各発表会場に用意するパソコンソフトは、 Windows 版 PowerPoint2007です。
 - ②ファイル名は次のようにして下さい。

半角文字で発表番号、 全角で発表者名の順(例: A1-1 高木)

③ファイルは、ウィルスチェックをすませた USB フラッシュメモリに保存してご持 参いただき、以下のように、各自でパソコンにコピーしてください。

1日目発表:6月30日(土) 9:00~ 9:30 (各発表会場において)

2日目発表: 7月 1日(日) 9:00~ 9:30 (各発表会場において)

- ④パワーポイントの操作は発表者が行って下さい。
- ⑤パソコンにコピーしたファイルは、大会終了日に消去します。
- 3. 配付資料は、<u>発表番号と氏名を明記し、必ず100部用意して、当日早めに各発表会</u>場前の廊下の資料置き場にご提出ください。
- 4. パワーポイントを使用される場合でも、機器に不具合が生じた時のために、印刷物を 100 部ご用意ください。
- 5. <u>口頭発表の時間は15分、質疑応答の時間は5分です</u>。質疑のない場合は20分まで発表できます。この時間には、資料配付等も含んでいます。発表時間が厳守されないとスケジュールが乱れますから、 是非ご協力をお願いいたします。
- 6. 口頭発表開始13分後に1鈴、15分後に第2鈴、20分後に第3鈴をもって終了 の合図とします。
- 7. 発表中止の場合は、できるだけ早めに、大会前の場合は学会事務局へ連絡ください。 大会当日は、会場では電話受付できませんので、大会に参加する方に連絡をとるな どして、大会実行委員会事務局にお知らせいただけるようにお願いします。発表中 止があった場合でも、その後の口頭発表時間の繰り上げはいたしません。

【ポスター研究発表】

- 1. ポスターは、1発表につき、 $3279 \text{ cm} \times 97150 \text{ cm}$ まで掲示可能です。
- 2. 指定されたポスター発表番号場所に、発表番号・演題目・所属・氏名・説明文・図・表・写真など、自由にレイアウトしてください。
- 3. ポスターの掲示期間は、6月30日(土)9:30~7月1日(日)13:30です。 掲示は、6月30日(土)9:30までに行ってください。
- 4. 発表者は、ポスター掲示期間中、受付でお渡しするリボンを付けていただき、ポスタープレゼンテーション時間帯には必ずポスター傍に待機してください。

奇数番号プレゼンテーションは、6月30日(土)13:00~13:30 偶数番号プレゼンテーションは、7月1日(日)13:00~13:30

- 5. ポスターは、セロハンテープで貼付してください。実行委員会で掲示場所に準備します。
- 6. ポスターの撤収は、7月1日(日)13:30以後すみやかに、各自で行ってください。

東京学芸大学キャンパスマップ

(西講義棟:番号33) (南講義棟:番号30)

(6月30日)

総会,講演・ : W110 講義室

シンポジウム (7月1日)

パネル・ディスカッション:

W110 講義室

(家庭科棟;番号5)

(6月29日)

理事会, 地区会代表者会議,

: 家 105 大会実行委員会

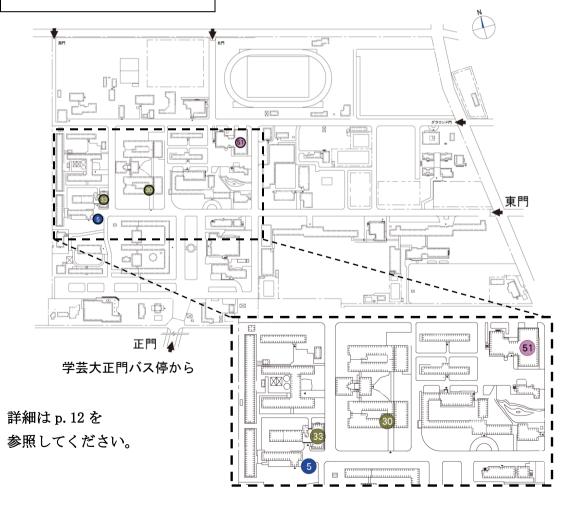
(6月30日~7月1日)

保育室 : 家 208 受什 : S107

マヤ : S107 口頭発表 : S103,S106, S202,S203

ポスター発表 : S105

書籍展示・頒布:中央コンコース 休憩室 : S102, S201



会場配置図(南講義棟:番号30)

1階

受付·大会本部 : S107

口頭発表第1会場:S103

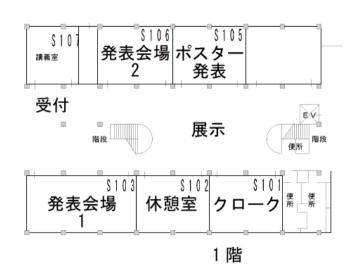
口頭発表第2会場:S106

ポスター発表会場: S105

クローク: \$101

休憩室: \$102

書籍展示・頒布:中央コンコース

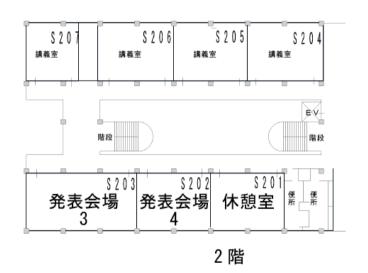


2階

口頭発表第3会場:S203

口頭発表第4会場:S202

休憩室:\$201



●交通アクセス 大会会場および懇親会会場

①JR 武蔵小金井駅・北口より

【京王バス】[5番バス停]「小平団地」行に乗車、約10分。「学芸大正門」下車、徒歩約3分(徒歩の場合は約20分)

②JR 国分寺駅より

徒歩約20分(JR 国分寺駅北口 → 早稲田実業学校 → 連雀通り/小金井市保健センター前)

③羽田空港から

【東京モノレール】「羽田空港駅」から「浜松町駅」約 22 分 →【JR山手線】JR山手線(内回り)「浜松町駅」から「東京駅」約5分 → 【JR中央線】「東京駅」から「武蔵小金井駅」約 40 分 →【京王バス】[5番バス停]小平団地行、約 10 分 →「学芸大学正門」下車、徒歩約3分

